

敵基地攻撃に反対

「二一・一沖縄知事 “憲法意思と違う”

復帰50年シンポ

玉城デニー沖縄県知事は8日夜、他国領土を攻撃する敵基地攻撃能力（反撃能力）について「憲法の意思とは違うと明確に反対する」と述べました。都内で開催された県主催の復帰50周年記念シンポジウムで発言しました。

デニー知事は政府が昨年末、閣議決定した安保関連

3文書で敵基地攻撃能力の保有や、軍事費倍増などが明記されたことにふれ、「Uのような大きな政策転換は、本来は国政の場でしっかりと検討し、十分な国民的議論が必要だ」と強調。南北地域での軍備拡大が掲げられていることに「抑止力の強化がかえって地域の緊張を高め、不測の



二〇〇八年 東京都文京区
都内で開かれた沖縄県復帰50周年記念シンポジウムで講演するデニー知事

都内で開かれた沖縄県復帰50周年記念シンポジウムで講演するデニー知事が新たに「地域外交室」を設置する方針であると紹介し、「地域の安全保障環境を改善する」とて在日米軍基地の整理縮小が可能な環境を作り出していきたい」と語りました。

事態が生ずるのではないか」と懸念を示しました。
その上で、平和的な外交や対話による緊張緩和など信頼醸成の重要性を指摘。